

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 セリア  
 コード番号 2782 URL <http://www.seria-group.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 河合 宏光

(氏名) 河合 映治

TEL 0584-89-8858

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	57,395	11.1	2,697	80.5	2,689	78.0	1,365	63.8
21年3月期第3四半期	51,646	—	1,494	—	1,510	—	833	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	18,011.48	—
21年3月期第3四半期	10,995.55	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	35,545	10,759	30.3	141,875.05
21年3月期	27,637	9,562	34.6	126,092.78

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 10,759百万円 21年3月期 9,562百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				2,500.00	2,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	9.7	2,800	80.4	2,800	77.2	1,200	52.9	15,822.78

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 75,840株 21年3月期 75,840株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 75,840株 21年3月期第3四半期 75,840株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の業績予想につきましては、平成21年10月29日に公表いたしました内容から本資料において変更しております。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間のわが国経済は、輸出や生産が増加を続けるなど、景気は持ち直し、企業の業況感も、製造業大企業を中心に、ゆるやかに改善しました。一方、設備投資は下げ止まりつつあるものの、収益がなお低水準で、設備過剰感が強いいため、当面は横ばいにとどまる可能性が高く、景気の先行きに対しては引き続き慎重で、回復の度合いはゆるやかなものにとどまるものと見られます。

小売業界におきましては、個人消費は各種対策の効果などから耐久消費財を中心に持ち直しているものの、対策効果の及ばない分野は総じてなお弱く、先行きについても予断を許さない、極めて厳しい環境下にあります。

このような状況のなか当社は、「進化するセリア」をテーマとして、お客様の需要にスピーディかつ的確にお応えできるオペレーションの構築に注力するとともに、持続的な成長の背骨となるブランディングを着実に進めております。直営既存店売上高につきましては、前年同期比102.5%となり、出退店につきましては、採算性を精査しつつ前向きに進め、出店が直営店82店舗、F C店1店舗、退店が直営店15店舗、F C店9店舗と概ね計画どおり推移しており、当第3四半期末の店舗数は、直営店876店舗、F C店122店舗の合計998店舗となりました。

一方、仕入原価につきましては、昨年のプラスチック原材料高の影響は薄まってはおりますが、足元で原油価格が上昇傾向にあることもあり、改善はゆるやかなものとなっております。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は573億95百万円（前年同期比11.1%増）、経常利益は26億89百万円（前年同期比78.0%増）、四半期純利益は13億65百万円（前年同期比63.8%増）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べ79億7百万円増加し、355億45百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が54億75百万円増加し、新規出店や売上増加により商品及び製品が3億29百万円増加しました。固定資産は、新規出店による資産の取得などにより14億95百万円増加しました。

#### (負債・純資産の部)

負債の部では、買掛金が40億50百万円増加し、未払法人税等が3億92百万円増加しました。

純資産は、前期末に比べ11億96百万円増加し、107億59百万円となりましたが、自己資本比率は前期末から4.3ポイント低下し30.3%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下、資金といいます。）の残高は、前期末に比べ55億10百万円増加し、74億23百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、69億39百万円のプラスとなりました。これは、税引前四半期純利益の計上26億1百万円、減価償却費13億72百万円及び仕入債務の増加40億50百万円などで資金が増加したことに対し、減少はたな卸資産の増加3億29百万円などにとどまったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、11億85百万円のマイナスとなりました。これは、新規出店に係る有形固定資産の取得等7億68百万円及び差入保証金の差入5億79百万円などにより資金が減少したためであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、2億37百万円のマイナスとなりました。これは、長期借入れによる収入25億円による資金増加に対し、減少は長期借入金の返済20億20百万円及びリース債務の返済による支出5億28百万円などにより資金が減少したためであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、概ね想定どおりの進捗となっておりますが、採算の良い雑貨の売上が順調であるなど、原価率が想定を下回り、販売費及び一般管理費の抑制にも努めたため、利益につきましては想定を上回る進捗であることを勘案し、通期の業績予想を修正いたします。

なお、平成21年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	75,000	2,600	2,600	1,100	14,504.21
今回修正予想 (B)	75,000	2,800	2,800	1,200	15,822.78
増減額 (B)－(A)	0	200	200	100	
増減率 (%)	0.0	7.7	7.7	9.1	
前期実績	68,394	1,551	1,579	784	10,345.93

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末ないし当第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。
- ・税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,265	2,789
売掛金	510	439
商品及び製品	9,986	9,656
前払費用	494	472
預け金	1,797	1,269
その他	198	204
貸倒引当金	△25	△18
流動資産合計	21,227	14,814
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,931	2,780
その他(純額)	4,200	3,133
有形固定資産合計	7,131	5,914
無形固定資産		
	499	577
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,654	5,355
その他	1,179	1,123
貸倒引当金	△147	△149
投資その他の資産合計	6,686	6,330
固定資産合計	14,317	12,822
資産合計	35,545	27,637
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,031	5,981
1年内返済予定の長期借入金	2,688	2,533
未払費用	1,311	1,087
未払法人税等	822	430
賞与引当金	78	141
店舗閉鎖損失引当金	2	12
その他	1,865	1,265
流動負債合計	16,800	11,451
固定負債		
長期借入金	5,342	5,017
退職給付引当金	69	63
役員退職慰労引当金	241	234
その他	2,331	1,306
固定負債合計	7,985	6,622
負債合計	24,785	18,074

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,278	1,278
資本剰余金	1,419	1,419
利益剰余金	8,069	6,893
株主資本合計	10,767	9,591
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7	△28
評価・換算差額等合計	△7	△28
純資産合計	10,759	9,562
負債純資産合計	35,545	27,637

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	51,646	57,395
売上原価	31,542	34,626
売上総利益	20,104	22,769
販売費及び一般管理費	18,610	20,072
営業利益	1,494	2,697
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	2	2
受取賃貸料	42	41
受取補償金	36	5
その他	23	21
営業外収益合計	115	84
営業外費用		
支払利息	62	78
貸倒引当金繰入額	14	—
その他	21	13
営業外費用合計	99	91
経常利益	1,510	2,689
特別利益		
前期損益修正益	339	—
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	339	—
特別損失		
固定資産除却損	13	5
減損損失	94	19
投資有価証券評価損	—	59
その他	4	4
特別損失合計	111	87
税引前四半期純利益	1,738	2,601
法人税等	904	1,235
四半期純利益	833	1,365

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,738	2,601
減価償却費	1,251	1,372
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△87	△63
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	6
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△9
受取利息及び受取配当金	△14	△16
支払利息	62	78
為替差損益(△は益)	6	4
有形固定資産除却損	13	5
減損損失	94	19
投資有価証券評価損益(△は益)	—	59
前期損益修正損益(△は益)	△339	—
売上債権の増減額(△は増加)	△207	△70
たな卸資産の増減額(△は増加)	△306	△329
預け金の増減額(△は増加)	△477	△527
仕入債務の増減額(△は減少)	4,121	4,050
未払消費税等の増減額(△は減少)	78	148
その他	479	535
小計	6,421	7,875
利息及び配当金の受取額	7	18
利息の支払額	△59	△76
法人税等の支払額	△1,002	△877
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,367	6,939
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30	△85
定期預金の払戻による収入	60	120
有形固定資産の取得による支出	△1,058	△768
無形固定資産の取得による支出	△173	△39
投資有価証券の取得による支出	△100	△35
差入保証金の差入による支出	△720	△579
差入保証金の回収による収入	198	260
その他	△35	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,859	△1,185
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,100	2,500
長期借入金の返済による支出	△1,870	△2,020
リース債務の返済による支出	△484	△528
配当金の支払額	△189	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444	△237
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,055	5,510
現金及び現金同等物の期首残高	2,237	1,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,293	7,423

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。